

★プロフィール★



生年月日 平成10年1月29日(23歳)
身長 177cm
血液型 A型
出身校 深川小学校、深川中学校、
深川西高等学校
所属事務所 (株)クリエイティブオフィスキュー、
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント

平成28年に結成され、メンバー全員が北海道出身・在住のユニット「NORD(ノール)」のメンバー。また、全国各地から歌唱力があるメンバーを選抜し結成された男女混合歌唱グループ「Love Harmony's Inc.(ラブ・ハーモニーズ・インク)」としても活動中。甘い歌声とユーモラスなキャラクターとのギャップが話題を呼び、北海道のテレビ・ラジオ番組に出演するほか全国のバラエティー番組にも数多く出演するなど活動の場を広げている。

——自分が努力すれば成果がついてくると実感できたのが、太星さんにとっては歌だったんですね
そうですね。歌にはそれがあるなと感じています。

——「広報ふかがわ」は市民のみならず、芸能界で活躍する本市出身の太星さんを知ってもらおうと気合いを入れて企画しました！
企画していただき、ありがとうございます。僕も今回のインタビューには特に気合いを入れてきましたので、よろしく願います！
”民謡で日本一になった祖母と後押ししてくれた仲間の存在“
——太星さんといえば素敵な歌声が魅力の一つですが、歌を始めた時期やきっかけを教えてください
中学1年生の頃、学校祭でのクラスの出し物を決めているとき、なぜかそ



▲祖母の島節子さんが、当時民謡の全国大会で優勝したことを取り上げた記事(広報ふかがわ1999年12月号)

の場で僕が歌う流れになったんです。歌って見たら、上手いと言ってもらえて、そこから歌うことの楽しさに気付いていきました。実は祖母が民謡で日本一になったことがあって、祖母から歌い方や練習方法などについてアドバイスをもらったりもする中で、どんどん歌への興味が深まっていきました。
——そこから本格的に歌を仕事にしようと思った転機は
高校2年生の時に、カラオケの北海道王者を決める大会があって、副賞の中にある大型テレビの獲得を目指して、普段から一緒にカラオケに通っていた地元の人たちと勢いで出場したんです。予選を通過し、難しいと思っていった決勝の舞台に進めた上に、賞を獲得し目標の大型テレビも持ち帰ることができました。うれしかったですし、なによりも大きな自信になりましたね。その時に、現在所属する「ソニー・ミュージックエンタテインメント」の方が僕の歌を聞いて声を掛けてくれました。その1年後に開催された、現在活動するユニット「NORD」のオーディションに合格し、今につながっています。

——勢いそのまま駆け上がったっていったんです
自信はありませんでしたが、友人たちから「太星ならいける」といつも励ましてもらっていたおかげで、オーディションなども頑張っていました。当時は今のように歌を多くの方に聞いてもらえるなんて想像もしていませんでした。
”歌は続けていたら必ず上手くなる成長を感じられることが楽しい“
——歌の魅力やおもしろさはどんなところだと感じていますか
歌は、歌い続けていたら毎年必ず上手くなるんです。中学1年生から歌い続けてきましたが、過去の歌を聞き返すと、絶対上手くなっているという実感がありません。学生の頃も勉強や部活動では思うような成長を感じられなかったけど、唯一成長を実感できたのが歌。23歳になって、身長も伸びないし、頭の良さも成長しないけれど、歌の技量は着実にステップアップしている。成長を感じ取れることが楽しいんです。

深川は僕が育ってきた大切な場所。

輝く星
深川の星

深川出身
しま たいせい
島 太星 です

みなさんは本市出身のタレント・アーティスト 島太星さんをご存じでしょうか。常に自然体なキャラクターで優しい歌声を持つ太星さんは、北海道で放送されるテレビ番組やラジオ番組だけでなく、全国メディアでの活躍も増えており、注目が集まっています。今回は、太星さんが胸に秘めている仕事や故郷深川に対する思いなどを聞きました。

問合せ 総務課秘書広報係(☎26-2216)



▲お土産として贈った「ふかがわシードル」などの特産品に喜ぶ太星さん(左) 冊子を見てもらいながら最近の深川の様子を紹介しました(右)

▼広報担当が撮影した成人式の際の太星さん(右) 当時の写真を見て大笑いする様子(下)



“バラエティー番組で
緊張を爆発させて戦う自分と
自信を持って歌っている自分
その両方を楽しんで欲しい”



——歌を強みとして芸能界での仕事を始めた太星さんですが、个性的な人柄も話題となり、最近では全国のバラエティー番組などへの出演も増えています

——いただいた仕事は、歌や芝居、バラエティー、なんでもやりたいんです。確かに集中した方が成長する効率はいいと思うけど、全部を楽しんで続けていければ、将来的にはより大きくなれるんじゃないかと考えています。

——努力を積み重ね、どんどん活躍の場を広げているように感じます。これまでの活動の中で、下積み時代の苦労などつらい経験はありますか

——今も正直下積み時代ではありませんが、活動を始めた頃からつらいと思っただことはあまりないですね。いろいろなことをやらせてもらいましたが、つらさよりも楽しさの方が勝ってしまっています。逆に最近、全国放送のバラエテ

——バラエティー番組に出演した後、SNSなどで評価が見れてしまうことにつらさを感じます。もちろんうれしいコメントもたくさんありますが、中にはショックを受けるコメントもあります。僕はメンタルが深川一弱いので、それを目にしてしまうと落ち込んで引きずってしまっています。その立ち直りに苦労していますね。

——SNSとの向き合い方は難しい問題ですね。そんな時はどう対処するのでしょうか

——いつもマネージャーさんや周りの方が優い言葉を掛けてくれて、心のケアしてもらって立ち直れています。支えてもらえてありがたいですね。

——得意な歌とは違うバラエティーの現場で意識していることは

——僕はお笑い芸人のようにオチや流れ

——プレッシャーに打ち勝つというように、自然体で受け入れるという感じでしょうか

——うん、自然体ですね。緊張している

——自然体というのは、太星さんを表す大きな魅力の一つだと感じますが、自分自身の持ち味や人に負けない部分はどこなところだと思いますか

——うん、お手洗いの早さですかね。え…。

——(マネージャー) 本当に早いんです！

——えーと…。

——あ、ペンが止まっていますね…すいません。そうですね、歌も自分より上手な方はたくさんいるし…。バラエティー番組に出演している自分と、歌っている自分を見比べてもらう面白さはあると思います。自分で見ても別人のようだと感じます。バラエティー番組



“ずっと大切にしてきた北海道での活動
そこを拠点に全国に行っているのは
忘れちゃいけないこと”



忘れちゃいけないこと”



▲言葉を選び慎重に答えたり、茶目っ気たっぷりに答えたりする魅力的な人柄の太星さん。

——緊張を爆発させて戦っている自分と、自信を持って歌っている自分という両方の魅力を楽しんでもらえたらうれしいです。

——今後の夢や野望はありますか

——将来の夢は、自分の城に住むこと！この業界は夢のある仕事で、運もありますが、自分の努力次第では、城を建てて住むことも実現できると本気で信じ全力で頑張っています。まずは今、自分が全国にも出させていたただいていますが、その経験を自分の力だけではなく、グループの力にもなるよう還元していきたい。一人の力ではつかめないことや届かないこともあるけれど、仕事仲間であり友人でもあるNORDのメンバーと力を合わせて頑張っている。ずっと大切にしてきた北海道での活動をよりみなさんに楽しんでもらえると思いますし、自分自身も城に住めるくらい大きくなれると思っています。

▼所属するユニット「NORD(ノール)」のメンバー。太星さんは右から2番目。



——全国での活動も増えている中、北海道を拠点として地元で根差して活動する意義や思いは?

——北海道が拠点なのは忘れちゃいけないこと。生まれ育った北海道で充実した活動をするために全国に出ているという部分も大きい。全国に出て、北海道でレギュラー番組があって戻ってきたとき、いい意味で肩の力を抜いて収録を楽しんでいるんです。北海道で冠番組が持てたらいいなという目標もあります。先輩である「チームナックス」が自ら本気で楽しんで番組作りをしている姿を見て、僕たちもそんな冠番組を作れたらいいなと思っています。

——なら、それを本番で爆発させようという感覚です！

——緊張を爆発ですか！その爆発によって生まれる印象的なコメントなどが世間から反響を呼んでいるんですね。逆に緊張して爆発しないと、刺さる言葉は出てこなくて。バラエティー番組でのコメントは緊張してしまうからこそ出てきている言葉なんです。だから、地元に戻って友人と会っていても「普段はつまらない」と言われてしまいますね。(笑)

——徐々に出演経験が増え、緊張をしなくなったら、また新しい向き合い方になっていきそうですね

——そうですね。最近の収録では、僕が緊張し過ぎてしまっていて驚いている共演者もいたので、今年では自分の中で緊張をコントロールしつつ、考えすぎずに自然体で臨めたらいいなと思っています。

——そんな活動を通して太星さんの思いが視聴者にも伝わるといいですね

——僕らの活動を道民のみなさん知ってもらって、楽しんでもらって、各地に行ったときにはNORDだと声を掛けてもらえるようになったらうれしいです。

——忙しい日々だと思いますが、リフレッシュ方法はありますか

——まず、おいしいものを食べることでですね。仕事が休みの日でもゆっくりするということはあまりなくて、アルバイトをするなど動いている時間がリフレッシュになるんです。生産性のない時間が嫌で、もったいないと感じてしまうので、お金なり何かを生み出そうと思っています。

——す、すごい活力ですね！

——城を建てるのが夢なので、休みの日もそこに向けて働いています！

——その城は、深川市内に建ててもらえるということでしょうか(笑)

——深川に城があったら見物にきてもらえそうですね！建てる場所はあまり意識したことがなかったですが、ここで幸せな家庭を築けたらいいですね。

※新型コロナウイルス感染症の予防対策を行った上で取材しています。また、写真撮影の際のみ一時的にマスクを外しています。

「歌を競い合っていた青春時代
深川のカラオケ屋が僕の原点」

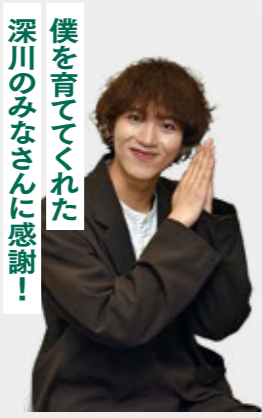
——いつ頃まで深川に住んでいたんですか
——19歳までです。高校を卒業してからは、道の駅でアルバイトをしていた時期もあるんです。

——深川での思い出の場所といえば
——まず、通っていた高校の近くにある食堂ですね。学生時代に友人とよく食べていたカツ丼は思い出の味です。絶対に外せないのは、街中にあったカラオケ屋で、よく通って練習していました。歌の上手い同級生が多くて、みんなで歌を競い合っていた青春時代でした。店のおばちゃんも歌を頑張っている子たちだからいつも応援して良くしてくれていました。今思えば、そのカラオケ屋が僕の原点ですね。

——深川の歌仲間や応援してくれる方々の存在が太星さんにとって大きかったんですね。学生時代はサッカー部に所属していたと聞きました
——はい、ポジションはゴールキーパーでした。当時ゴールキーパーは黒いユニフォームだったので、蜂が寄ってきてしまい、怖くて逃げている間にゴールを決められたこともあって…そんな守護神でした。(笑)

——なんともううれしい言葉です。深川で歌うとしたらどこが思い浮かびますか
——田んぼの中などの大自然もいいですが、ぜひ文化交流ホール「み・らい」で歌いたいです！高校時代にコーラス大会が「み・らい」であって、みんなで歌った後に、僕が歌を頑張っていることを知っていた先生が、サプライズでマイクを持たせてくれてステージで歌ったんです。その時、客席にいる生徒のみんなが盛り上がりだしてうれしかった思い出があって、人気が出て人を呼べるようになったら、いつか「み・らい」の客席を埋めて歌いたいです。

——近い将来、地元で太星さんの歌が聞けることを心待ちにしています！
——素敵な言葉をありがとうございます！最後に、深川のみなさんに一言！



僕を育ててくれた
深川のみなさんに感謝！

——深川にも歌手やタレントをはじめとする自分の夢を持つ子どもたちがいます。夢を追いかけて頑張っている先輩から、子どもたちに向けてメッセージをお願いします
——僕の仕事は、夢を追うことが大事になってきます。もし深川にも、僕のように

に夢を持っている子がいるのなら、あきらめず挑戦して欲しいですが「頑張るぞ」って意気込んで頑張るだけだと行き詰まってしまう。毎日磨くことは大切ですが、これだけ頑張っているのに結果がでない…とつらくなってしまいますよね。全然ダメな時期やいい時期がありますが、それ自体を楽しむことが大事だと思うんです。

「深川との縁は
ずっと大切にしていきたい」

——深川にはよく帰省されますか
——毎年、正月とかには帰省しています。最近は何に一度くらいしか帰れていませんね。

——離れてみて、故郷深川はどのように見えていますか
——深川に住んでいた頃はまだ学生で、良さがあまり感じ取れていませんでしたが、人の数ももう少し多いし、一人ひとりの絆も強くて、僕は本当に幸せだったんだなと思います。田んぼが多い田舎ですが、市民のみなさんが本当に優しいし、青春を過ごしたまちが深川で本当に良かったと今では思います。離れると「帰りたいな」って思わせられるいいまちですね。

——愛する深川のために貢献したい思いはありますか
——その思いは山々ですが、僕に何ができるかな…。まず、僕の地元は深川だということをもっとPRしていきたいです。もちろんイベントなどと呼んでいただけたら喜んで歌いますし、深川を元気にするため、力になりたいです。深川との縁はずっと大切にしていきたい。そして、深川といえば島太星だとみなさんの中に刻まれるように頑張っていきます。

——素敵な言葉をありがとうございます！最後に、深川のみなさんに一言！
——私たちは島太星さんの存在を、まさに深川の星だと思って応援しています。太星さんが自分らしく輝き、さらに活躍されることを楽しみにしています！今回は、本当にありがとうございます！

1問1答で
たいせい
太星くんを
知りたいぜい！

--- about TAISEI ---

--- shiri TAISEI ---

- Q1 朝起きて最初にすることは？
「夕日を見る！…あ、違う。カーテンを開けて朝日を見る！光を浴びてリセットですね〜」
- Q2 食べることが大好きな太星さん、地球最後の日に何を食べたい？
「(悩む太星さん)…でも、僕が先に死んでしまうかもしれないから…(!?) 甘いものが食べたい！ひたすらチョコレート溶かして食べる」
- Q3 好きな歌手は？
「玉置浩二さん。小さい頃から憧れています」
- Q4 歌手として大切な喉のために気を付けていることは？
「全くない。喉が枯れたら枯れた時だと思って、常にその日の状態の中で一番いいパフォーマンスが出せればと思っています。体調を管理し過ぎると、逆に意識し過ぎて体調を崩すことが多いので、本番にも自然体で臨むようにしています」



よし！悩まずに直感で答えます！！

- Q5 尊敬する人は？
「事務所の先輩、大泉洋さん」
- Q6 子どもは好き？
「好きですよ！でも、3歳頃になると何でも遠慮なく言われるので、目を見るのが怖くなります。兄に子どもがいますが、今2歳なので、まだ大丈夫です(笑)」
- Q7 深川といえば？
「優しいおじいちゃん！まちの方はみんな優しいけど、特におじいちゃん、おばあちゃん世代の優しさは半端ないです！」
- Q8 太星ファンの市民へ向けて、とびきりの決め顔をお願いします！



02 市民のみなさんに向けた
特別メッセージ動画を公開！

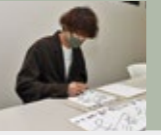
太星さんからのメッセージ動画は、市ホームページや公式Facebookで公開していますので、ぜひご覧ください。

動画公開・応募ページ▶



03 市民限定5人の方へ
直筆サイン色紙をプレゼント！

抽選で5人の方にサイン色紙をプレゼントします。いただいた応援メッセージは太星さんにも届けますので、多くの応募をお願いします。 ※当選発表は、4月中旬(予定)の発送をもって代えます。
対象 市民(応募は1人につき1回まで)
応募方法 下記の必要項目を記入して郵送するか上記QRコードから応募してください。
必要項目 氏名、住所、電話番号、次のアンケートへの回答【①島太星さんを知っていたか②島太星さんへの応援メッセージ③食べ物や場所など深川市の好きなもの④広報ふかがわへの意見など】
応募期限 3月31日(水)まで(郵送は当日消印有効)
応募・問合せ先 ☎074-8650
深川市2条17番17号
総務課秘書広報係 (☎26-2216)



もっと
もっと
島太星



01 SNSでも応援しよう！

太星さんの歌声がいつでも聴けるYouTubeチャンネル「たいせいはボク」では、名曲をカバーして歌う動画が投稿されていますので、ぜひご覧ください。(毎週金曜日午後7時に更新)



▼ツイッター



▼インスタグラム

